

福井市学校版環境ISO 実施計画書

福井市長 様

私たちの学校は、恵み豊かな環境を守り未来に引き継いでいくために、環境保全に関する学習、教育及び活動を積極的に行って環境にやさしい学校づくりと生命や自然の大切さを理解し郷土を愛するモラルの高い児童生徒の育成に取り組むための実施計画を作成しましたので、福井市学校版環境ISO認定制度による認定の更新を申し込みます。

令和 3年 5月 22日

学校名 福井市木田小学校

校長氏名 小林 利幸

1 今年度の目標(学校の約束)

- ① 環境やエネルギーについて学習します。
- ② ごみ減量・リサイクルを推進します。
- ③ PTAの人と協力し、地域の方々にも呼びかけます。

2 取組内容

① 環境学習・環境教育

総合的な学習の時間を中心に、教科横断的にSDGsの取組内容や、持続可能であることの意義、自分や家庭でできる取組について学習します。

各教科で環境に関する学習を行い、環境問題に気づき、環境を保全する必要性を学びます。

② ごみ減量・リサイクル

環境委員会活動を中心にペットボトルキャップ回収を行い、リサイクルします。

③ その他の環境保全活動

学校で取り組んでいる環境学習、環境保全活動について保護者に学校便りなどを通して伝達します。

★ ESDポイント(取組内容の内、1項目についてESDの視点をどのように取り入れるかを記載してください。)

⑥環境学習で、人との、こととのつながりを意識した学習をします。委員会活動を中心に、家庭でペットボトルキャップ回収の話をしたり、全校に働きかけたりして、人とのつながりが結果に表れることに気づくような学習していきます。

福井市学校版環境ISO 実施報告書

学校名 木田小学校	
1 今年度の目標（学校の約束） ① 環境やエネルギーについて学習します。 ② ごみ減量・リサイクルを推進します。 ③ PTAの人と協力し、地域の方々にも呼びかけます。	
2 取組内容 ①狐川の水質調査 狐川流域まちづくり協議会と協力して、木田小学校区内に流れる狐川の水質を調査した。身近な川がどのように作られ、何が生きていて、どのように守られているのかを知った。その上で、どの程度の汚れがあるのかを水質検査キットで調べ、環境への意識を高めた。 ②総合的な学習の時間での環境への実践 5年生では、SDGsをテーマとして総合の授業を進めた。その中で、自分達ができる取組として、フードドライブや牛乳パックのリサイクル、ペットボトルの回収を行った。また、海洋汚染を起こしているマイクロプラスチックについて調べ、海の豊かさを守ろうという意識を高める活動も行われた。 ③ユニクロの服のチカラへの参加 ユニクロの古着を難民に送るプロジェクトに参加し、児童や保護者にも呼びかけ、段ボール9箱分の子ども服を集め、外国の難民へと届くように発送した。	 
★ ESDポイント （取組内容の内、1項目についてESDの視点を取り入れたポイントを記載して下さい。） ③について、身の回りにある物には限りがあり、大切に使うことやリサイクルすることで有効に資源を活用でき、世界の中で協力したり助け合ったりして生きていくことを、古着を回収することで、身をもって学ぶことができた。（相互性・連携性）	
3 見直し	【具体的効果】 ①②1年を通して環境を意識し、SDGsと関わらせながら考えることで、持続可能な環境を守ることにに関して意識するようになった。 ③世界の難民へ古着をリサイクルすることで、世界とつながる環境問題について目を向けることができた。 【改善点】 ・環境に対してどのように学ばせていくのかを年間計画の中にしっかり組み込んでいく必要がある。そして、学校全体にどのように発信していくのかも見通しを立てておく必要がある。